

# 平成22年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

## 1 国際理解・研修事業

(計画額3,547千円 実績額 2,518千円)

### (1) 語学講座の開催

講座名	コース	期間	回数	対象	受講者数
中国語	入門	5/25～3/15	35	初心者	7
	初級	5/28～3/18	33	経験者(1年程度)	30
	中級	5/26～3/16	33	基礎修得者	13
韓国語	入門	5/25～3/15	35	初心者	31
	初級	5/27～3/17	35	経験者(1年程度)	47
	中級	5/26～3/16	34	基礎修得者	25
ロシア語	入門	5/27～3/17	34	初心者	11
	中級	5/28～3/18	36	基礎修得者	14
ポルトガル語	初級	5/24～3/14	30	基礎修得者	16
英語	イングリッシュ・アドベンチャー	8/17～8/20	4	高校生	3
		10/19～10/22	4		10

会場：とやま国際センター研修室



### (2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際理解を促進するとともに青年海外協力隊制度などをPRした。

開催回数：71回

参加者数：延4,135名

講師：国際交流員、JICA職員、とやま国際理解教育研究会、青年海外協力隊OBなど

### (3) 国際交流サロン

#### ① イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語りあった。

開催回数：24回

参加者数 延557人

会場：とやま国際センター談話室



## ② お茶つとルーム

各国のお茶などを飲みながら、コーディネーター役の国際交流員と県民が気軽に交流した。

時 期：毎月第4火曜日（月1回）

18時30分～20時

会 場：環日本海交流会館

参加者数：延113人



## (4) 夏休み子ども英語塾

小学生にゲームなどを通じ英語に触れ、英語に親しみを持ってもらった。

開催回数：4回（夏休み中）

参加者数：6名

会 場：環日本海交流会館



## (5) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生等との交流を通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらった。

時 期：7月17日（土）～18日（日）2日間

参加者数：高校生15名

会 場：国立立山青少年自然の家ほか



## (6) 市町村職員等国際協力実務者研修

時 期：5月28日

参加者数：25名

会 場：とやま国際センター研修室A

内 容：基調講演：「外国住民との共生への試み～日本語学習支援活動を通して～」

講 師：長嶋 昭親 氏（こうべ子どもにここ会運営委員長、兵庫日本語ボランティアネットワーク代表）

## 2 国際交流事業

（計画額3,993千円 実績額2,785千円）

### (1) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力活動を草の根レベルで実践している団体、個人を顕彰し、県民の国際交流・協力の意識の啓発、向上を図った。

時 期：平成22年11月24日（水）

会 場：富山県庁4階特別室

表 彰 者：個人6名、団体2



## (2) 草の根国際活動助成

団体名	事業名	助成金額 (円)
富山県日韓親善協会	富山県日韓親善創立 35 周年記念日本韓国伝統芸能富山公演	100,000 円
南砺ラオス会	ラオス音楽協力活動事業	100,000 円
富山日伯交流友の会	在住日系ブラジル人支援事業	200,000 円
高岡外国人の子どもことばと学力を考える会	高校進学を目指す外国人生徒のための学習支援教室	200,000 円
社団法人 富山青年会議所	日本香港青少年国際交流事業 「世界に目を向け思いやりの種を蒔こう」	100,000 円
高岡市日中友好協会	「歓聚一堂」「談談悦悦」開催事業	100,000 円
富山ルーマニア友好協会	マケドニア共和国の文化の紹介 (講演会とミニコンサートの交流会)	100,000 円
ふれあいサロン「ベルの会」	大沢野国際料理・文化交流事業	30,000 円
いみず多文化共生ことはじめの会	「いみず・多文化共生ことはじめ」開催事業	100,000 円
富山ロシア協会	ロシア民族工芸紹介事業	100,000 円
計	10 団体	1,130,000 円

## (3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供した。

時 期：11月13日(土)～14日(日) 会場：CICビル内

参加団体数：30 団体 参加延べ人数：約 5,600 名

主 催：国際交流フェスティバル実行委員会



## (4) 国際交流団体ネットワーク化の推進

県内で国際交流や国際協力に取り組んでいる団体で構成する「富山県国際交流団体ネットワーク会議」を開催し、相互間の情報交換と連携を図るとともに、先導的な活動事例報告を行った。

時 期：平成 22 年 9 月 30 日 (金)

会 場：環日本海交流会館

参加者数：28 人 (22 団体)

事例報告：「ラオス人民民主共和国への支援」

講 師：南砺ラオス会 渉外部長 高橋喜良 氏

### 3 国際協力事業

(計画額 63,585千円 実績額 61,614千円)

#### (1) 海外研修員等の受入に伴う支援

富山県が開発途上国等に対する技術協力の一環として受け入れる海外技術研修員、自治体協力交流員として中国から受け入れる公務員、ブラジル人児童の学習支援のため受け入れる多文化共生推進研修員の日本語研修や滞在中の日常生活等を支援した。

##### 海外技術研修員

国名	人数	受入期間	研修機関
ロシア	1	6カ月	有限会社中嶋工芸社
中国	1	3カ月	富山薬事研究所



##### 自治体協力交流員

国名	人数	受入期間	研修機関
中国	2	6カ月	富山県衛生研究所及び 高岡市役所

##### 多文化共生推進研修員

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1	6カ月	高岡市立野村小学校



#### (2) 県費留学生の受入に伴う支援

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生の滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成22年4月10日～平成23年3月22日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成22年5月8日～平成23年3月30日	富山大学
県立大学遼寧省留学生	1名	平成22年4月14日～平成23年3月30日	富山県立大学

#### (3) 私費留学生への支援

##### ① 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生で、1年生及び2年生以上のうち成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	1年生	月額10,000円支給	支給者数 延	250人
	2年生以上	月額50,000円支給	支給者数 延	265人
日本語教育機関の学生		毎月3,000円支給	支給者数 延	1,175人

##### ② 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

- ・助成額：年額12,000円
- ・支給者数：私費留学生 193人  
日本語教育機関学生 97人

### ③ 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。

連帯保証引受件数 24件

### (4) 国際交流フォーラム

黒部市が開催した国際交流イベント「EARTH MOVING」に合わせて、国際交流・国際協力をテーマにした講演会を開催した。

時 期：平成23年3月5日（土）  
 会 場：黒部市国際文化センター  
 講 師：関口知宏 氏  
 演 題：旅～ふれあい 参加者：630名



### (5) NOWPAPへの協力

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

### (6) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金 1,270,000円（ブラジル900,000円、アルゼンチン270,000円、ペルー100,000円）
- ・南米協会活動費補助金 1,000,000円
- ・海外移住家族会活動費補助金 4,696,505円

### (7) 青年海外協力隊事業への支援

- ・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 105,000円

## 4 多文化共生事業

（計画額 9,048千円 実績額 8,301千円）

### (1) 外国人のための生活相談等の実施

#### ① 生活相談

県内で暮らしている外国人が日常生活に必要な情報や個人的な悩み等を母国語（6カ国）で相談できるよう外国人の生活相談員や国際交流員を配置し、面談又は電話で対応した。

（対応言語）英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、ロシア語、ウルドゥ語

（相談実績）

内 容 相談者国籍	内 容													合 計
	在 留	婚 姻	医 療	情 報	労 働	福 祉	住 宅	保 険	税 金	教 育	交 通 事 故	法 律	そ の 他	
ブラジル	21	2	25	35	23	7	11	19	10	9	1	8	8	179
中国	1	7		4	24				1			1		38
ロシア				4			1			1				6
パキスタン				1			1	2	1					5
その他	2	3	1	7	2	1	1			6		2	10	35
合計	24	12	26	51	49	8	14	21	12	16	1	11	18	263

## ② 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう、三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行った。 利用件数：31件

## (2)外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

### ① 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催した。

時 期：6月3日～8月5日

開催回数：10回

受講者数：21名

会 場：環日本海交流会館



### ② 日本語ボランティアのスキルアップ講座

地域の日本語教室などで活動している日本語ボランティアの資質向上を図るための講座を開催した。

#### ・テーマ別勉強会の開催

テ ー マ：外国人のための識字教育について

時 期：9月7日～11月9日

開催回数：10回

受講者数：22名

会 場：環日本海交流会館

#### ・ボランティア・リーダーの育成

外国人住民から見た日本語ボランティア活動の現場や外国人住民が自ら行うボランティア活動についての事例を学び、今後の活動の可能性について考える勉強会開催をした。

時 期：11月20日

会 場：環日本海交流会館

講 師：らいこむ多文化教室代表

朴 海淑（パク ヘスク）氏

受講者数：地域の日本語教室8教室16名



### ③ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図った。

派遣内訳：太閤山日本語グループ 12回

日本語教室 in 氷見 12回

日本語教室 in 黒部 13回

南砺市友好交流協会 12回

魚津市日本語ボランティア 1回

### ③ 県内在住外国人への地域支援日本語情報提供

日本語ボランティア教室の情報を当財団のホームページに掲載する。

### (3) 新 外国人のための就活応援講座の開催

職場で使う日本語、日本の企業文化、雇用制度などを学ぶ



講座を開催した。

時 期：7月4日～11月21日

開催回数：10回

会 場：環日本海交流会館

受講者数：57名

#### (4) 新 外国人が感じた「とやまのここがすき、ここがきれい」の募集

富山県人が気づいていない富山の魅力や外国人が不快に感じている点、不思議に感じていることなどの感想文を募集し、これをホームページや機関誌などで紹介した。

応募点数 30点 表彰8点



#### (5) 新 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子供には母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。

時 期：6月～11月 第2, 第4日曜日

開催回数：12回 (英語、中国語、ポルトガル語等)

会 場：環日本海交流会館



#### (6) 外国人への防災情報の提供

防災情報を5カ国語で提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を放送し、地震や台風など災害に関する防災情報、国際交流イベントや生活情報等を提供するとともに、海外で流行している音楽なども紹介した。

放送日時：毎週日曜午後8時～8時10分

放送局：FMとやま

放送回数：計52回

放送言語：英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、ロシア語

#### (7) 多文化共生理解教室の開催

地域に暮らしている外国人住民を講師として、自国の生活習慣や文化などを紹介してもらうとともに、日頃の思いを地域の日本人住民等へ直接語りかけてもらう教室を開催した。



時 期	会 場	テ ー マ	参加者数
7月31日	黒部市立田家公民館	アメリカの文化を理解する	17人
9月25日	小矢部市綾子公民館	カメルーンの文化を理解する	15人
12月15日	南砺市福野西部公民館	韓国の文化を理解する	17人

## 5 情報サービス事業

(計画額 ~~2,346千円~~ 3,144千円 実績額 3,

027千円)

### (1) 情報紙の発行

#### ① 「What's Happening」

内 容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介した。

発行言語：英語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、日本語

発行部数：毎月 2,470部

#### ② 「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際流団体の活動、海外からのレポート、とよま国際センターの事業等を報告した。

発行部数：年4回 各2,000部



### (2) 国際交流人材バンク

#### ① 国際交流人材の登録と紹介

(紹介実績)

区 分	件数	内 訳 (人)
通 訳 者	23 件	英語 (9) 中国語 (6) ポルトガル語(3) タイ語(3) タガログ語(2) 等 計：29 人
翻 訳 者	32 件	英語(12) ポルトガル語(7) 中国語(6) 韓国語(6) スペイン語(2)等 計：37 人
ホストファミリー	2 件	利用者の国籍 中国(2) ロシア(1) 計：3 人
日本語指導者	3 件	利用者の国籍 中国(1) パキスタン(2) 計：3 人
海外事情紹介者	5 件	ロシア (3) カナダ (2) アメリカ(1) セルビア(1) 韓国(1) 計：8 人

#### ②通訳者の資質向上のためのセミナー開催

時 期：12月5日(日)

会 場：環日本海交流会館

受講者数：13 名

内 容：ワークショップ “「日→英」通訳スキルの更なる向上をめざす”

講 師：田村 智子 氏

(財団法人国際教育振興会 日米会話学院同時通訳科担当講師)



### (3) 新 ホームページの更新

公益財団法人への移行に合わせて新しい財団をアピールするとともに、利便性の向上を図るためホームページのリニューアルを行った。



## 6 日本海学推進機構事業

(計画額 13,547千円 実績額 12,868千円)

### (1) 日本海学推進機構活動費

(ア) 運営委員会

時期：5月14日

会場：富山県民会館

(イ) ホームページによる普及活動 ホームページを22年11月にリニューアルし、情報発信を行った。

### (2) 新 日本海学展示事業

海王丸パーク内の日本海交流センターに、日本海学の展示コーナーを設置した。

設置日 平成23年3月

内容 モニター紹介、パネル紹介

### (3) 日本海学講座 (県内)

#### 通常講座

トキの野生復帰の現状 ～佐渡の現場から～	新潟大学超域研究機構 准教授 永田 尚志	5/29 (土)	参加者 47人
富山の環日本海交流 ～中国、ロシア、韓国～	富山県国際交流員、富山大学留学生 3名(中国・ロシア・韓国)	11/20 (土) 1	49人
渤海と古代の日本	國學院大学栃木短期大学 教授 酒寄 雅志	2/11 (金)	78人

#### 特別講座

【野外講座】 海の恵みと名水のまち生地	黒部観光ボランティアの会、その他 黒部市の方々	10/2 (土)	18人
【親子料理教室】地引き網&とれたて夏魚で料理体験	くろべ漁業協同組合女性部(県認定) とやま食の匠)ほか	8/7 (土)	25人 10組

### (4) 日本海学講座 (県外)

巡回する水、つながる水 ～日本海と富山湾の調査から～	富山大学大学院理工学研究 部 教授 張 勁	7/24 (土) 東京大学海 洋研究所「白鳳丸」	参加者 26人
-------------------------------	--------------------------	-----------------------------	------------

### (5) 日本海学 シンポジウム

時期：12月18日

会場：タワー111 スカイホール

参加者数：184名

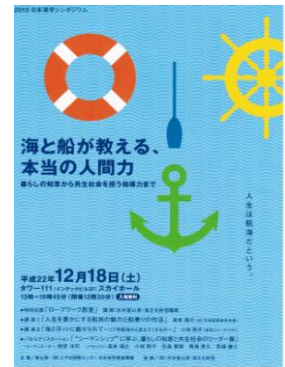
テーマ：「海と船が教える、本当の人間力 ～暮らしの知恵から共生社会を担う指導力まで～」

概要 講演Ⅰ 「人生を豊かにする船旅の魅力と船乗りの作法」 森本靖之 (社) 日本船長協会会長

講演Ⅱ 「海とヨットに魅せられて ～リブ号航海から見えてくるもの～」

小林則子 海洋ジャーナリスト

パネルディスカッション 「“シーマンシップ” に学ぶ、暮らしの知恵と共生社会リーダー像」



## (6) 大学講座等推進事業

(ア) 富山大学

日本海学推進機構などが企画し、2009年に発行した「自然と経済から見つめる北東アジアの環境」をテキストとした日本海学の講義を後期に実施し、外部講師を派遣した。

講師：川田 邦夫 (富山大学名誉教授) ほか1名

受講者数：約100名

(イ) 富山国際大学

・「地域環境論—総合学としての日本海学を含む—」(前期開講)の講義に外部講師を派遣した。

講師：山本雅資 (富山大学極東地域研究センター 准教授) ほか5名

受講者数：約100名

(ウ) 富山県立大学

\* 「環境論Ⅰ」(工学部1年生必修) (前期開講)の授業に外部講師を派遣した。

講師：川田 邦夫 (富山大学名誉教授)

受講者数：230名

\* 「富山と日本海」(工学部3年生選択) (前期開講)の授業に外部講師を派遣した。

講師：大田 希生 (水中カメラマン) ほか1名

受講者数：80名

(エ) 富山県大学連携協議会

富山県大学連携協議会における日本海学に関する公開講座への協力業務を行った。

実施回数：3回 (各2講座)

開催時期：9月

受講者数：134名

## (7) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学の研究・普及活動のすそ野を広げるため、地域に根ざした研究や普及・実践活動を行おうとするグループ・団体に対して助成し、研究発表の機会を与えた。

(ア) 平成22年度助成 (応募18件、助成11件、助成総額3,000千円)

(イ) 平成21年度助成分の発表会

時期：5月8日

会場：富山県民会館

受講者数：50名

## (8) 新 日本海学ホームページリニューアル事業（機構への委託事業）

(ア) 概要：雇用交付金を活用した県からの委託事業により、ホームページのリニューアルを行った。

(イ) 事業内容 ・ホームページリニューアル作業及びデータ移行



## (9) 新 キッズ日本海学発信事業（機構への委託事業）

(ア) 概要：雇用交付金を活用した県からの委託事業により、22～23年度にかけて、キッズ版のホームページを作成した。

(イ) 事業内容 ・ホームページ制作に必要な構成内容及び仕様書の作成

# 7 環日本海交流会館管理運営事業

(計画額 23,794千円 実績額 23,785千円)

## (1) 施設管理運営費

県民が環日本海地域について理解を深めるとともに、県民と外国人との交流や外国人相互の交流を推進する場として運営を行った。また、国際交流・国際協力に関する図書、雑誌、ビデオ、インターネットなどの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

・総利用者数 18,313人

ア 一般利用者数

(単位:人)

午前	午後	夜間	合計
4,304	3,577	3,438	11,319

イ 会議室利用者数

887件 6,994人 (うち、大会議室利用 121件 2,024人)

ウ 図書、ビデオテープ等の利用件数

区分	図書	ビデオテープ	DVD	CD	カセットテープ
利用件数	844	75	138	8	6

再掲 (2) 日本語ボランティアの育成・支援

再掲 (3) 新 外国人のための就活応援講座の開催

再掲 (4) 新 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

再掲 (5) 国際交流人材バンク

# 8 富山県大連事務所運営事業

(計画額 20,929~~28,596~~千円 実績額 18,

833千円)

**(1) 経済交流の推進**

- ① 訪問・来訪等による情報収集等 延670件 (訪問…357件、来訪…313件)
  - ・ 日系の企業及び関係機関……………393件
  - ・ 中国系の企業及び関係機関……………277件
  
- ② 各種ミッション等に対する協力・支援
  - ・ 環日本海経済交流センターミッションほか
  - ・ NEAR2010への協力
  
- ③ 各種商談会、セミナー等の調査・視察
  - ・ 日中地域間交流推進セミナーほか
  
- ④ 観光客の誘致
  - ・ 中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等  
上海世界旅游資源博覧会などの観光イベントへの参加等
  - ・ 上海万博「富山県の日」開催への支援
  
- ⑤ その他
  - ・ 大連富山企業会の開催 (6/4、9/3、12/3、3/8)  
セミナー、意見交換会等の開催
  - ・ 富山ー大連ー北京便延伸・デイリー化への協力
  - ・ 富山県物産販売への支援  
中国での深層水関連商品及びミネラルウォーター販売支援など
  - ・ 県内企業と中国企業との合作マッチング (ミネラルウォーター、アルミ・プラスチックなどの部材ほか)

**(2) 各種交流事業への支援**

- ① 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力
- ② 要人等の来訪時の対応

**(3) 富山ファン倶楽部の活動**

- ① 総会の開催 (11/11、瀋陽)
- ② 大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催 (12/3 大連)
- ③ 富山ファン倶楽部会員カード (特典付) の新規発行
- ④ 会員への富山県情報の提供
- ⑤ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進 (23年4月現在会員数305名)

**9 旅券関係事業**

(計画額 2,104千円 実績額 1,956千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区分	平成22年度(件)	平成21年度(件)	対比(%)
新規発給	26,614	25,023	117.9%
渡航先追加	0	0	—

査証欄増補	48	57	98.0%
訂正	385	392	108.5%